

令和8年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請関係様式

都道府県名	31_鳥取県
市区町村名	
自治体区分	都道府県

●令和8年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和8年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和7年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
31000鳥取県	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	・各高等学校の特色化・魅力化にかけ、地域と連携した特色ある教育活動の実施等を教員主導で行っているため、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。 ・令和7年度は県立高校教員の14%超が、月45時間・年間360時間以上の時間外勤務を行っており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域の連携・協働体制の強化・促進を図る。	・地域学校協働活動推進員の配置を拡充することにより、学校と地域学校協働本部との連携を強化し、教員主働型から協働型の地域学校協働活動への一層の改善を図る。 ・協働活動サポーター等の支援により、地域と連携した特色ある教育活動等を実施することで、教員の業務負担を軽減する。	地域学校協働活動推進員が学校と地域を機能的に繋ぎ、協働体制による地域学校協働活動を展開することで、教員の業務負担が軽減する。	月45時間・年間360時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	15.1	%	13.0		
31000鳥取県	②学校と地域の課題	04 高校・特別支援学校における地域連携の強化	県立特別支援学校における地域学校協働活動推進校を2校指定し地域と連携する活動に取り組んでいる。地域学校協働活動の取組として、地域住民と一緒に活動する良さを実感している教職員は半数程度である。	令和7年度に指定した地域学校協働活動推進校2校の取組を全ての県立特別支援学校に情報提供する。特に地域住民と協働した活動によって、学校や児童生徒への理解が広がり地域とのつながりが深まった好事例を伝える。	地域学校協働活動推進校2校では、地域学校協働活動に関わり、その良さを感えている教職員が増えている。推進校2校の取組を全ての県立特別支援学校へ広げること、地域学校協働活動への理解を深め、その良さを感えられるようにする。	地域学校協働活動を実施することにより、地域と協働することの良さを感じている教職員数が増加する。	教職員の肯定的な回答の割合（活動前後のアンケート調査により測定）	令和8年度初めにアンケート調査を実施	%	令和8年度初めにアンケート調査を実施+10%		